

わたし 今、私たちが住む地球には、いろいろな環境問題が起きています。

かんきょう 環境問題について調べて、自分にできることを実行しましょう。

わたしの海が危ない！ 国境をこえる海ごみ

かんきょう 国境をこえる海ごみ

いま世界の海で、私たちの暮らしなどから海に流れ出る海ごみが大きな問題になっています。

海ごみは、大きく分けると以下の3つの種類に分けられます。



海ごみの原因はさまざまです。海に直接捨てられた物もありますが、多くは海からはなれた陸上で捨てられたごみが、風によって川に入り、海にたどり着いたものです。日本から流れ出たごみが、海外の国の海岸にたどり着いた事例も報告されています。



日本から流れ出たごみの一部は、ハワイ諸島にまで流れ着いています。

かんきょう 南太平洋の無人島にも日本のごみが流れ着いています

世界のどの陸地からも遠くはなれた南太平洋の無人島に、世界中からごみが流れ着いています。イギリスの海外領土である世界遺産、ヘンダーソン島の白い砂浜にあふれる大量のごみ。これらは日本だけではなく、ロシア、アメリカ、ヨーロッパ、南米、中国などから流れ着いたものです。

特に日本のごみは、日本近海の海流から、さらに太平洋をめぐる大きな海流へ。ごみは国境をこえて漂流し、1万キロも離れた南半球の島まで運ばれてきたのです。



南太平洋の無人島に漂着した海ごみ



出典：アメリカ科学アカデミー紀要 (PNAS) 2017.6.6, 2017.9.19

かんきょう 生き物がプラスチックをエサとまちがえて飲みこんでいます

海ごみの大半をしめるプラスチックは、自然にはほとんど分解されず、長い間、海をただよっています。

たくさんの海の生き物が、プラスチックをエサとまちがえ、飲みこんでいます。



コアホウドリの雛3羽の体内から見つかったプラスチックごみ (北西ハワイ諸島ミッドウェー環礁にて)

提供：一般社団法人 JEAN

かんきょう 日本の近海にある4つの海流

日本の近海には4つの海流があります。特に黒潮は、最大で時速7~9キロの速さで流れることがあり、太平洋側の海岸にあるごみを遠くまで運んでしまいます。

同じように、中国や韓国など日本の周辺国のごみも海流により、日本海側の海岸などに流れ着いています。



かんきょう 海ごみを減らす活動が、世界中で行われています

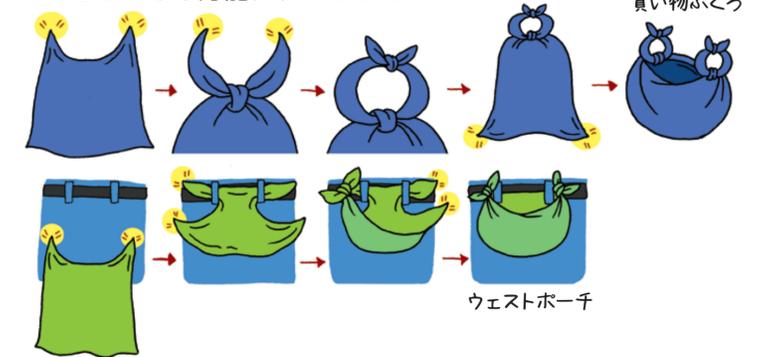
海ごみは、日本だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど、世界中で問題になっています。そのため多くの国で、海ごみの調査をしたり、海ごみを減らす活動が行われたりしています。

東京都では、東京の小学生と、アメリカのニューヨークの小学生が、海につながる川のごみや、海ごみについて調べ、インターネットを通じて、海ごみの問題を一緒に考え、発表しました。



えと 江戸時代の知恵…ふろしきは万能グッズ

物をむだにせず最後まで使いきるのが当たり前だった江戸時代。ふろしきは、つつむ(包装紙)、運ぶ(バッグ)、結ぶ(ロープ)ことができる万能グッズでした。



かんきょう 海を守るために 自分にできることを考えてみよう



歩道や公園など、身近な場所をきれいにしよう
 食品トレイなどの店頭回収に協力しよう
 海ごみについて、家の人と話をしてみよう

